



## ⑫実用新案公報(Y2)

昭61 - 38481

@Int\_CI\_4

織別記号

庁内整理番号

四四公告 昭和61年(1986)11月6日

2/18 2/46 A 45 D

7613-3B 7613-3B

(全3頁)

匈考案の名称

髪巻き用ローラー

②実 顧 昭55-171469

開 昭57-94402 ⑮公

頭 昭55(1980)11月28日 22出

❷昭57(1982)6月10日

⑫考 案 者 林

和 良

名古屋市中区栄2丁目4番地5号(小林ビル内ひつぢや)

切出 顋 人 林 良 和 名古屋市中区栄2丁目4番地5号(小林ビル内ひつぢや)

方

弁理士 児玉 斉夫 ②代 理

文 官 義 塞 沓 佐 伯

1

## 動実用新案登録請求の範囲

面フアスナーの係着面が外側を向くように、平 面部に面ファスナーの凸1又は凹2の一方を配設 すると共に底面部に他方を配設し、これら平面 る細い目の網3等の網状物で連結して両端部にそ れぞれ入口6、出口7を備えた筒状体を形成し、 入口 6 に 整保持用クリップ 5 を取り付けたことを 特徴とする髪巻き用ローラー。

## 考案の詳細な説明

この考案は、毛髪を巻くために面フアスナーを 備えた箇状体を形成し、筒状体の入口にクリップ を取り付けて、使用時に筒状体の内部に毛髪を入 れて巻き、従来の毛髪を巻いたへアーローラーを スナーが髪巻き用ローラーと眩ローラーの固定体 の役目をする髪巻き用ローラーに関するものであ る。

従来は毛髪をヘアローラーに巻くときに眩ヘア た。又、毛髪を巻き終つた際、他の固定体でヘア ローラーを固定しなければ、ヘアローラーが巻付 けた毛髪から外れた。

本考案はその欠点を除くために考案されたもの で、これを図面とともに説明すれば、本例は、主 25 毛先9側をこの展張状態の筒状体内に位置させ として第1図に示すように、片面を夫々凸係着 面、凹係着面とした凸1と凹2よりなる一対の面

フアスナーを用い、この面フアスナーの係着面が 外側を向くように、平面部に面フアスナーの凸 1 又は凹2の一方、例えば凸1を配設すると共に、 底面部に他方の凹2を配設し、これら凸1、凹2 部、底面部の左右の側面を伸縮性、通気性を有す 5 の面ファスナーの平面部、底面部の左右の側面を 伸縮性、通気性を有する細い目の網3で連結し て、これら一対の面フアスナー、網3で両端部に 夫々入口6、出口7を備えた箇状体を形成し、眩 筒状体の入口6に軽挟持用クリップ5を取り付 10 け、凸1、凹2の面フアスナーに夫々多数の通気 穴4~4を透設している。

> 次に、このようにした本ローラーの髪巻き使用 について説明する。

先づ第2図に示すように、平面部、底面部に配 止める他の固定体を不用にして、筒状体の面ファ 15 設してある凸1、凹2の面ファスナーを出口7側 からそれぞれ、凸1、凹2の面フアスナーの内面 (裏面) が外側に出るように入口 6 まで丸く巻 き、次にクリップ5を開き、この開いたクリップ 5を通して毛髪8を希望する長さだけ入口6から ローラーから毛髪の毛先が外れて巻きにくかつ 20 内部に引きこみ、次にクリップ 5 を閉じてクリッ プ5で毛髪8を挟持する。

> 次に、この出口7を入口6まで巻いた筒状体 を、内部に毛髪8を入れた状態で毛髮8の毛先9 の方向に巻き戻し、元の展張状態として毛髪8の

次に第3図に示すように、内部に入つた毛髪8

をはさむようにして面フアスナーの凸1又は凹2 の一方の方向に出口7側から巻く。

この巻回により筒状体の平面部と底面部にある 面ファスナーの凸1と凹2とが衝合して係着し、 毛髪8を内部にはさんだ状態で、他の固定体を使 5 側から巻いていけば、面フアスナーが髪巻きロー 用することなく、この巻回状態が保持される。

なお、本考案の実施態様として次の如きことも できる。

(4) 伸縮性、通気性のある筒状体に面フアスナー を構に間隔をあけて取り付けることによつて筒 10 状体は縦の伸びがよくなる。

上記のように本考案の髪巻き用ローラーは、面 フアスナーの係着面が外側を向くように、平面部 に面ファスナーの凸1又は凹2の一方を配設する 面部の左右の側面を伸縮性、通気性を有する細い 目の網3等の網状物で連結して両端部にそれぞれ

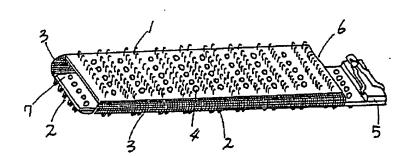
入口6、出口7を備えた筒状体を形成し、入口6 に髪保持用クリップ 5を取り付けたことを特徴と しており、髪巻き使用時に毛髪を筒状体内に入れ て筒状体を平面部又は底面部の何れか一方に出口 ラーの役目を果すと共に、面ファスナーの凸と凹 とが係着するので巻回状態を保持できて他の保持 用固定体を要しない効果がある。

## 図面の簡単な説明

図面は本考案の実施例を示すもので、第1図は 斜視図、第2図、第3図はそれぞれ使用状態にお ける斜視図である。

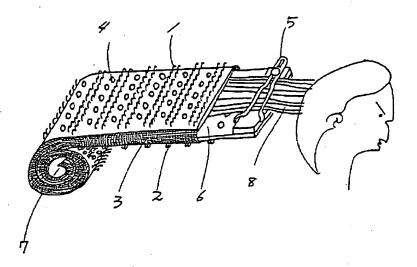
1……面ファスナーの凸、2……面ファスナー の凹、3 ……網、4 ……通気穴、5 ……クリッ と共に底面部に他方を配設し、これら平面部、底 15 プ、6 ······入口、7 ·····出口、8 ·····毛髪、9 ··· …毛先。

第1回



8

第3回



This Page Blank (uspto)